猫にまみれた生活

夫はお風呂から一年半前からそして来ない
出張先で突然倒していってこちらもいる
仕事以外は大きな丸テーブルを作ったり
ご飯を入れる器を作ったりしている
一年半ってあっという間と井戸がまくれ
水道がスムーズな家の中は洗面に電気屋市男が
ありストーブがつく昔のなつかしい会話は
ない お風呂からかえって家にいるのは週間
から十日ぐらい 又一年半出張かえって来
ると 奥さんは 今度は
の言葉ばっかり 私はこれといった
皆さんにどんな変化を発、カラの日のひ
どい出来がなくなると同時に「それこそみんな
変化するの」とおちつかない
それにうすうす気がついていた夫は変化を
与えようとせっせと働く 一年半のうち中
相談しようにも「それとうも何も
帰り別馬、自分でできめていくしかない
異なんは二人でまずくものだ それがない

基

字も不くちいりりアとの糸はするりとなかさ
ぬて行った

先日狼の話をきいた　動物園の園長の話だ
狼は十五、六頭のさわぎで集団生活する　それは「しか」
のような自分より大きいものを食べていくた
め一頭では生きぬからだ　これのリーダー
のカフにはなん人間で言う恋もあい嫉妬もあい
きずなが非常につよく一生つづく、
園長が力をいれてつよいきずなの話をした
むれの中になる「ボス」もいるがなかなかおきな
い

それだけに相手を失うのがすくしい、
ある日園内に一頭の「おす」の狼がいたので他の
動物園から「めす」をかりて来たがおたがい
なかなか気にいらない　が一たんカフプル
になるとさすがつよいそうだ
狼ってそういいなと思った